

佐倉市子ども・子育て支援に係るニーズ調査

【小学生児童保護者用】

資料 4 - 2

平成 30 年 7 月 3 日（金）

第 1 回佐倉市子育て支援推進委員会

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政の推進について、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。
佐倉市では、早ければ平成 27 年度に施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けた準備を進めております。新制度は幼児期の学校教育・保育や、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するための制度で、国が定める「基本指針」に基づいた「子ども・子育て支援事業計画」を各市町村が策定することとされています。

つきましては、皆様の子育て支援に関する現在の状況、今後の利用希望など地域における様々なニーズを正確に把握し、「子ども・子育て支援事業計画」の策定に活かしていくため、「子ども・子育て支援に係るニーズ調査」を行うこととなりました。

この調査は、住民基本台帳の中から小学生のお子さんを持つ保護者の方を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の子育て支援施策の検討にのみ利用させていただきますので、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ありません。

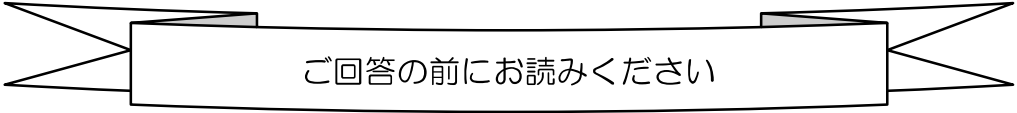
佐倉市の総合的な子ども・子育て支援対策の推進に向けた大変重要な調査ですので、ご多忙のこととは存じますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 26 年 1 月

佐倉市

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さん（平成 25 年 12 月末現在）の状況についてご記入ください。
2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。なお、数字は□欄に右づめでご記入ください。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに沿ってご記入ください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
5. 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24 時間制（例：午後 6 時→18 時）でご記入ください。
6. 設問によってご回答いただく方が限られる場合があります。ことわり書きや矢印に沿ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
7. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて 1 月 17 日（金） までにご投函ください。
8. お問い合わせは、健康こども部子育て支援課（担当：^{しげの}滋野・^{おがわ}小川）までお願いします。
電話 484 - 6139（直通）



ご回答の前にお読みください

ご回答いただく項目は設問によって異なります。

アンケートに要する時間は、おおむね15分程度ですので、なにとぞご協力をお願いいたします。

佐倉市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間の一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています。（平成27年度から実施予定）

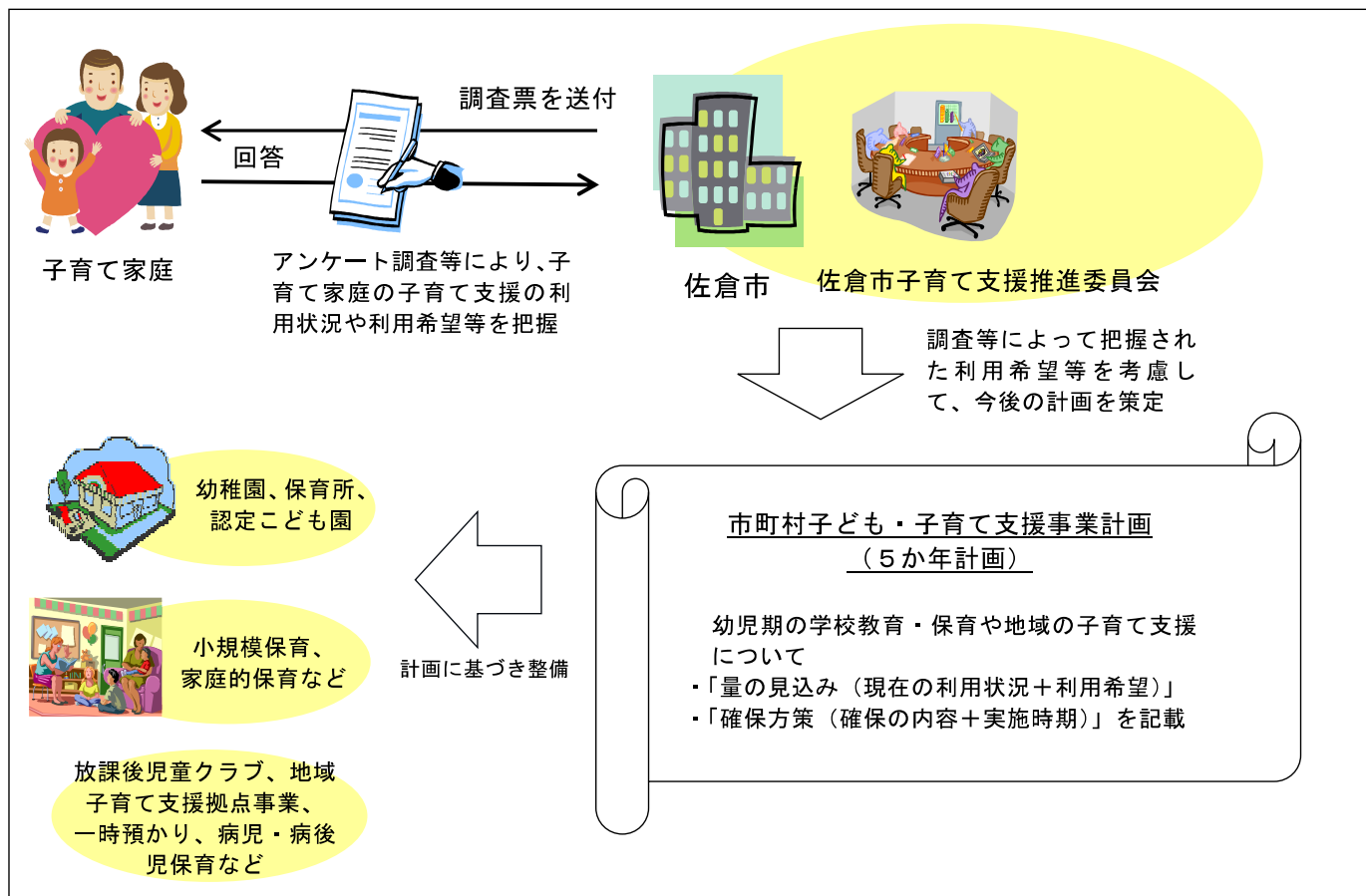
本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を佐倉市が算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。

この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の醸成、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。

地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



(用語の定義)

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ 幼 稚 園 : 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
(学校教育法第22条)
- ・ 保 育 園 : 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・ 認 定 こ ど も 園 : 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
※現在、佐倉市内には認定こども園はありません。
- ・ 子 育 て : 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・ 教 育 : この調査においては家庭での教育を含めた広い意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

285-0000
佐倉市00000番地
佐倉 太郎様 の保護者様



0000000000 - 00001

宛名ラベルの左下にある数字のうち、ハイフン（-）の前にある10ケタの数字の、下2ケタの数字（下線部分）が中学校区を示す番号ですので、番号をご確認のうえ、下記の枠の中からお選びになり、該当する番号に○をつけてください。

※左記のラベルはイメージです。

- | | | | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 31. 佐倉中学校区 | 32. 志津中学校区 | 33. 上志津中学校区 | 34. 南部中学校区 |
| 35. 臼井中学校区 | 36. 井野中学校区 | 37. 佐倉東中学校区 | 38. 臼井西中学校区 |
| 39. 西志津中学校区 | 40. 臼井南中学校区 | 41. 根郷中学校区 | |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの小学校何年生ですか。（口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

小学校 年生

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は末子の方の生年月をご記入下さい。

きょうだい数 人 末子の生年月 平成 年 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんと同居しているご家族の方はどなたですか。
当てはまる番号すべてに○を地付けてください。

1. 母親 2. 父親 3. 姉（ ）人 4. 兄（ ）人
5. 妹（ ）人 6. 弟（ ）人 7. 祖母 8. 祖父

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに〇 をつけてください。

- | | | | |
|-----------|---------|---------|----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 |
| 5. その他（ ） | | | |

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 すべてに〇 をつけてください。

- | | | | |
|--------|-----------|-------|-------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 |
| 5. 小学校 | 6. その他（ ） | | |

問9 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境 すべてに〇 をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|--------|-----------|
| 1. 家族 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 認可保育園 |
| 5. 認定こども園 | 6. 認可外保育施設 | 7. 小学校 | 8. その他（ ） |

問10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号 すべてに〇 をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5. いずれもない |

問11 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。
また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1つに〇 をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. いる／ある 問11-1へ | 2. いない／ない 問12へ |
|------------------------|-----------------------|

問11で「1. いる／ある」に〇をつけた方にうかがいます。

問11-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は誰（どこ）ですか。
当てはまる番号 すべてに〇 をつけてください。

- | | | |
|-------------------------------|------------------------|----------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設（子育て支援センター、児童センター等） | 5. 保健所・健康管理センター・保健センター | 6. 小学校教諭 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. かかりつけの医師 | 9. 自治体の子育て関連担当 |
| 10. 民間の子育てグループ等 | 11. その他（ ） | |

問12 子育て（教育を含む）において、現在なにか悩みや不安をお持ちですか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登校拒否、不登校などの問題について
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 子育てに関しての配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまり、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
18. その他 差しつかえなければ、具体的にお書きください

(

)

問13 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます。

問14 宛名のお子さんの保護者の現在の働き方（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

※ここで言う「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の働き方を言います。

また、「パート・アルバイト等」とは、フルタイム以外の働き方を言います。

母親	父親
1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない 6. これまで働いたことがない	1. フルタイムで働いており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで働いているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で働いており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で働いているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は働いていたが、現在は働いていない 6. これまで働いたことがない

問14で「1. ～4.」に○をつけた方にうかがいます。

問14-1 週当たりの「働く日数」、1日当たりの「働く時間（残業時間を含む）」「家を出る時刻」「帰宅時刻」

をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状態についてお答えください。

時間は、必ず（例）08時30分～18時45分のように、24時間制でお答えください。

（□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。）

母親	父親
週当たり 日 1日当たり 時間 家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分	週当たり 日 1日当たり 時間 家を出る時刻 時 分 帰宅時刻 時 分

問 15 問 14で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で働いている）に○をつけた方にうかがいます。

該当しない方は、問 17へお進みください。

フルタイムで働きたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親	父親
1. フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある	1. フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある
2. フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない	2. フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない
3. 今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している	3. 今後もパート・アルバイト等で働くことを希望している
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問 16 問 14で「5. 以前は働いていたが、現在は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 17へお進みください。

働きたいという希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 一番下の子どもが	歳になったら働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
※ 下記の当てはまる記号 <u>1つ</u> に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）	
→希望する働き方	{ ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方） イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり 日 1日当たり 時間
4. その他（	

（2）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 一番下の子どもが	歳になったら働きたい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
※ 下記の当てはまる記号 <u>1つ</u> に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。（数字は一桁に一字）	
→希望する働き方	{ ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の働き方） イ. パート・アルバイト等（「ア」以外） →1週当たり 日 1日当たり 時間
4. その他（	

宛名のお子さんの就学前の教育・保育の事業の利用状況についてうかがいます。

問17 **すべての方にうかがいます。** 宛名のお子さんが小学校に入学する前に平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用していた施設にあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる施設のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた
定員概ね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育するもの）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育するもの）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かるもの）
12. その他（ ）

宛名のお子さんの就学前の地域子育て支援拠点事業の利用状況についてうかがいます。

問18 宛名のお子さんが小学校に入学する前に、地域子育て支援拠点事業（レイクピアウスイ内の子育て支援センターや、保育園の園庭開放など、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していましたか。
次の中から、利用していたものすべてに○をつけてください。
また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1 週あたり 回 もしくは 1 ヶ月あたり 回程度
2. その他当該自治体で実施している類似の施設（具体名： ）
1 週あたり 回 もしくは 1 ヶ月あたり 回程度
3. 利用していない

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、利用していなかったが、できれば利用したかった、あるいは、利用日数を増やしたかったと思いますか。

当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

（口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字で記入してください。）

1. 利用していなかったが、できれば利用したかった
週あたり 回 もしくは 1 ヶ月あたり 回程度
2. 週に数回利用していたが、もっと利用日数を増やしたかった
週あたりさらに 回 もしくは 1 ヶ月あたりさらに 回程度
3. 利用日数の変更は考えなかった。
4. 利用しようとは思わなかった。

問20 問18のような地域子育て支援拠点事業について、どのようにすれば利用しやすくなると思いますか。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. 自宅の近くにある	2. 職場の近くにある
3. バスなどの送迎サービスがある	4. 駐車場がある
5. 気軽に参加できる(申込不要など)	6. 手続きがわかりやすい
7. 講座やイベントが充実している	8. スタッフの対応がよい
9. その他 ()	10. 特にない

問21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①マタニティクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
②パパ・ママクラス	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③健康管理センター・南部保健センター・西部保健センターが実施する相談事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④公民館が主催する親子遊びなどの事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤図書館が主催する絵本のお話会などの事業	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥家庭教育に関する学級・講座	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧子育て支援センター(レイクピア臼井3階)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨佐倉市教育センター(佐倉東小学校内)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩佐倉市の子育て情報誌「佐倉っ子・子育てナビ」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑪佐倉市の民間団体が発行している子育て情報誌「佐倉子育てカレンダー」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑫その他サークルやNPO法人が提供する「親と子の友達作り」や「親と子が集える場所」	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑬CSP講座(どならない子育て練習講座)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問22 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで小学校や学童保育所をお休みしたことはありますか。

1. あった ⇒ 問22-1へ	2. なかった ⇒ 問23へ
-----------------	----------------

問22-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

1. できれば病児・病後児保育施設を利用したい ⇒ 日 ⇒ **問22-3 へ**

2. 利用したいとは思わない ⇒ **問22-4 へ**

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。

そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問22-5 問22-1で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒

--	--

 日
2. 休んで看することは非常に難しい

宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問23 あて名のお子さんについて、放課後はどのように過ごしていますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。

また、学童保育所の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。

時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

※学童保育所…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい
4. 児童センター・老幼の館 ※1 週 日くらい
5. 学童保育所 週 日くらい → 下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週 日くらい
7. その他（公民館、公園など） 週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用している場合は「5.」に回答してください。

問24 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日（月曜日から金曜日まで）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごさせていたか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。

また、学童保育所の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一桁に一字）

学童保育所…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用者負担が発生します。

1. 自宅 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい
4. 児童センター・老幼の館 ※1 週 日くらい
5. 学童保育所 週 日くらい → 下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週 日くらい
7. その他（公民館、公園など） 週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5.」に回答してください。

問25 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。または、過ごさせていますか。

当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。

また、学童保育所の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。

時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. 自宅 週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅 週 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） 週 日くらい
4. 児童センター・老幼の館 ※ 週 日くらい
5. 学童保育所 週 日くらい → 下校時から 時まで
6. ファミリー・サポート・センター 週 日くらい
7. その他（公民館、公園など） 週 日くらい

※1 児童センター・老幼の館で行う学童保育所を利用したい場合は「5.」に回答してください。

問26 問24または問25で「5. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。【参考】平成25年度ニーズ調査

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。

事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		時から 時まで
3. 利用する必要はない		

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		時から 時まで
3. 利用する必要はない		

問27 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望はありますか。

事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、口内に(例)09時~18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい	}	利用したい時間帯
2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい		時から 時まで
3. 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください
(数字は一桁に一字)。

また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○) 1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも可)	父親 (いずれかに○) 1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも可)
--	--

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった

2. 仕事が忙しかった

3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった

4. 仕事に戻るのが難しそうだった

5. 昇給・昇格などが遅れそうだった

6. 収入減となり、経済的に苦しくなる

7. 保育園などに預けることができた

8. 配偶者が育児休業制度を利用した

9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった

10. 子育てや家事に専念するため退職した

11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった)

12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった

13. 育児休業を取得できることを知らなかった

14. 産前産後の休暇 (産前6週間、産後8週間) を取得できることを知らず、退職した

15. その他 ()

問28-1 問28で「2. 取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問29へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した 2. 現在も育児休業中である 3. 育児休業中に離職した

問28-2 問28-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったとい

う場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問28-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

□内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親	(2) 父親
1. 実際の取得期間 歳 ヶ月 2. 希望 歳 ヶ月	1. 実際の取得期間 歳 ヶ月 2. 希望 歳 ヶ月

問28-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

□内で数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

(1) 母親	(2) 父親
歳 ヶ月	歳 ヶ月

問28-5 問28-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

②父親

1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他（ ）

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（

1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他（

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

1. 利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）
2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。
当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他（ ）

当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親	(2) 父親
1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1 歳になる前に復帰したい	1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい 2. 1 歳になる前に復帰したい

問29 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。



問30 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、
ご自由にご記入ください。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school writing paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。